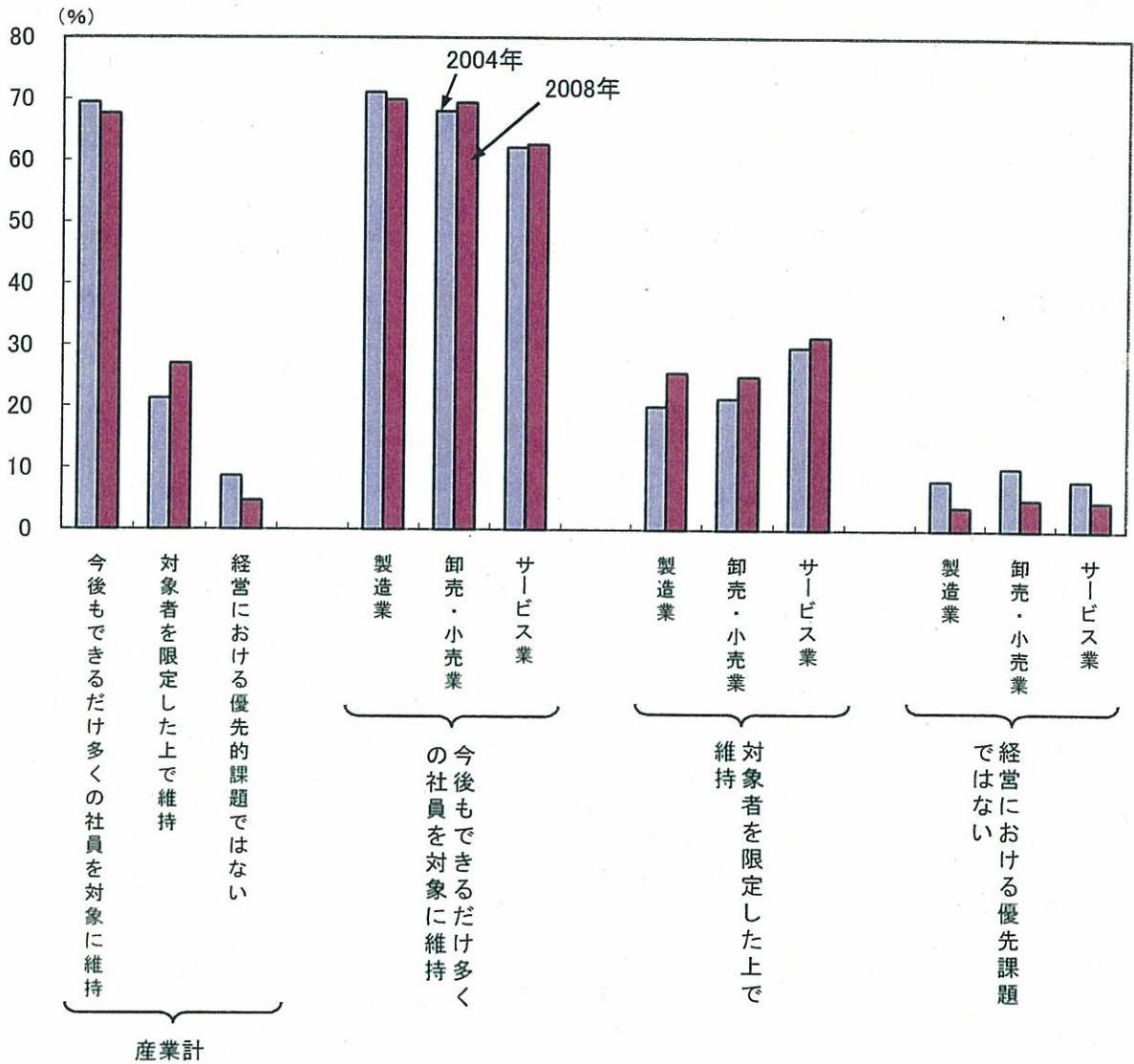


雇用システム(長期雇用)に関する企業の考え方



資料出所 (独)労働政策研究・研修機構「企業戦略と人材マネジメントに関する総合調査」(2004年)、同「今後の企業経営と賃金の在り方に関する調査」(2009年)をもとに厚生労働省労働政策担当参事官室にて作成
 (注) 調査は、「長期安定雇用」に対する企業の態度をたずねたもの。

(雇用安定機能と人材育成機能を備えた雇用システムの意義)

- 「長期安定雇用」に対する企業の態度をみると、7割近くの企業が、今後もできるだけ多くの社員を対象に維持していきたいとしており、我が国企業において、長期雇用は引き続き主要な慣行となっていることが分かる。その変化をみると、長期安定雇用は経営における優先的な課題ではない、という否定的な回答は減少し、対象者を限定した上で維持するというものが増加した。
- 今後、長期雇用システムの有する雇用安定機能や人材育成機能を活かした政労使の一体的な取組が求められる。

まとめ

- 雇用の安定を基盤に仕事の働きがいを通じて経済・産業活動を活発化させるとともに、経済活動の成果を適切に分配し、豊かで安心できる勤労者生活を実現することのできる雇用システムを構築していくことが重要である。

雇用の安定を基盤とした安心できる勤労者生活の実現に向けて

雇用の安定の確保と経済の底支え

大きな経済収縮のもとにあっても政労使の一体的な取組により雇用の安定を確保し、長期雇用システムの基盤を守ることが求められる。

次の景気回復とそのもとでの着実な経済成長を期し、優れた技術・技能を有する人材を組織の中に確保しておくことは、企業経営としても経済活動としても合理的なこと。雇用の安定は、所得と消費の崩落を防ぎ、人々の心理的不安を払拭することによって、経済の底支え機能を発揮する。

- 非正規労働者を含めた雇用維持に向けワークシェアリングの取組を強化
- セーフティネットの整備による職業紹介、職業訓練等、再就職の促進に向けた対応

職業能力向上に支えられたすそ野の広い所得の拡大

職業能力の向上に支えられたすそ野の広い所得の拡大を実現することが求められる。

今後の経済成長に向けた課題として、特に、すそ野の広い技術・技能の蓄積と人材育成が重要。より多くの人々に支えられた労働生産性の向上は、人々の所得を底上げ、消費を力強くし、企業の将来予測を改善させ、交易条件を改善させる方向へと作用する。このような視点から、雇用安定機能と人材育成機能を備える雇用システムのさらなる拡張を図っていくことが大切である。今後、雇用システムの中での非正規労働の位置づけは検討課題であり、近年、増加を続けてきた派遣労働についても、製造業派遣、登録型派遣のあり方を中心に検討を深める必要がある。

- 長期雇用システムのもとで雇用の安定と人材育成を推進
- 不安定就業者の正規雇用化、組織の活性化をもたらすことができる人事・処遇制度に向けた取組

産業・雇用構造の高度化と質の高い雇用の創出

産業・雇用構造の高度化に裏付けられた内需の着実な成長を目指すことが求められる。

高い生産力を担う新たな産業分野を展望し、高度な産業・雇用構造を実現することで、社会全体として、労働生産性の向上と質の高い雇用の創出に努めていくことが必要。このような取組が、人々の将来の成長に対する確信を高め、高い生産力に裏付けられた力強い内需の成長を導くことができる。

- 新たな産業・雇用構造を展望し、それを担う人材の育成を計画的に推進
- 新たな産業・雇用分野を創出するための総合的な支援の展開